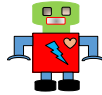


RPA導入10事例



2019年3月05日
イースタンデジタル株式会社

1

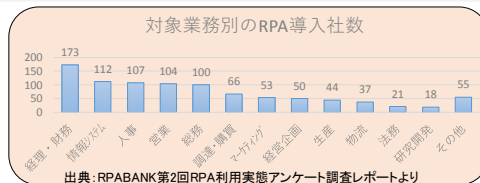
本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

1

国内における業種別RPA導入事例

業種	対象業務	詳細
金融機関（銀行）	経理財務	財務経理業務（投資運用商品の日次実績作成等） 決算業務（注記開示情報の作成）
金融機関（保険）		支払査定業務
電機		財務経理業務（月次売上計上・レポート作成）
化学	人事	財務経理業務（入金消込）
製薬		労務管理業務（Time Sheet関連）
自動車製造	マーケット リサーチ	市場調査に関するレポート作成業務 競合・市場動向に関するレポート作成業務
マスメディア	編集	編成局の番組表作成業務
コンサルティング	業務管理	契約登録・請求書発行業務

- ポイント**
- （1）経理財務が、RPA導入が断然進んでいる。
 - （2）次に、情報システム部門もRPA導入が進んでいる。



2

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

2

【事例1】コールセンターにおける作業レベルの 均一化と人員削減

イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（顧客情報の登録業務）

コールセンターでは、お客様からの電話を受け、顧客情報をパソコンで内容を確認して回答している。

2. 課題

システム上で、「顧客ステイタス」を変更するには、30～40の画面遷移が必要で、顧客の問い合わせに対して1件あたり、約20分の時間がかかっていた。
このため、お客を待たせるというクレームがあった。



3

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

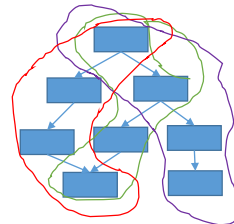
3

【事例1】コールセンターにおける作業レベルの 均一化と人員削減

イースタンデジタル株式会社 EDC

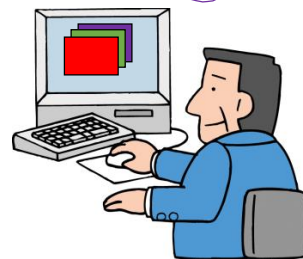
3. RPAでの対応

「顧客ステイタス」変更時の画面遷移をRPAによって自動化し、画面遷移を3画面で済むようにした。
(3画面から20～30画面にRPAでデータ操作)



4. 効果

- ・ 1件の処理時間を20分⇒1分に短縮。
- ・ 熟練スタッフ10名を新人スタッフ1名で対応（人員及びコスト削減）。
- ・ 「複雑なルールの下で正しい条件を即座に選択する」という、困難かつ正確性と迅速性が求められる作業ミスを消滅。



4

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

4

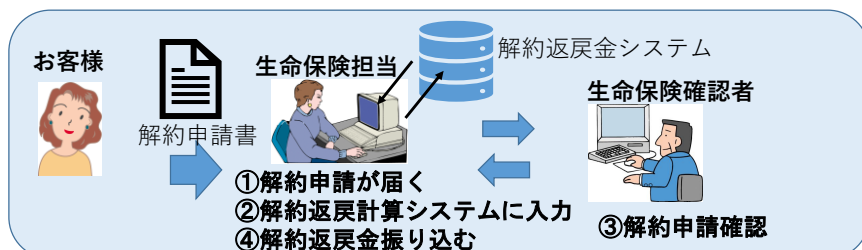
【事例2】生保会社における、解約払戻金算出の時短と精度向上 イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（解約払戻金業務）

- ①お客様からの解約申請が届く。
- ②必要情報を解約返戻金計算システムに入力する。
- ③算出した解約返戻金が、間違いがないかを確認する。
- ④お客様の口座に解約返戻金を振り込む。

2. 課題

生命保険会社の解約払戻金の算出に時間が長い。



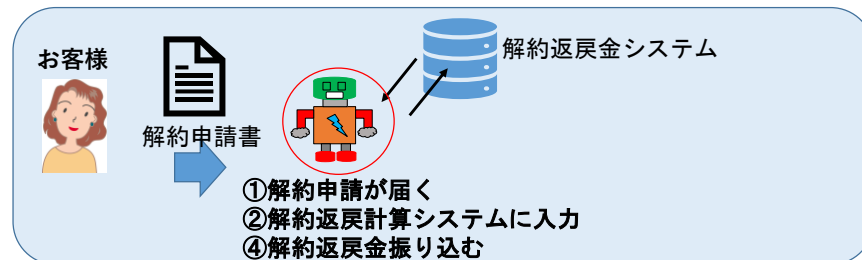
本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

5

【事例2】生保会社における、解約払戻金算出の時短と精度向上 イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPAでの対応

- ②必要情報を解約返戻金計算システムに入力。
- ③算出した解約返戻金算出結果の確認を必要に依頼。
- ④③の結果、問題なければ、お客様の口座に振込。



4. 効果

- ・証券1件あたりの処理が2秒に短縮。
- ・ミスなく、半年で、37,000件の処理を実現。

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

6

【事例3】企業調査部門の与信管理における 調査時間短縮と24時間対応化

イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（与信管理業務）

- ①新規取引先に対する信用調査依頼を調査部門が受け取る。
- ②調査部門は、調査会社の信用情報DBにアクセスし当該企業の信用情報を抽出する。
- ③信用情報データをまとめてメールで依頼部門担当者に返す。

2. 課題

調査部門における一連の作業（依頼受領→情報収集→データ整理→報告）を自動化できないか。



本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

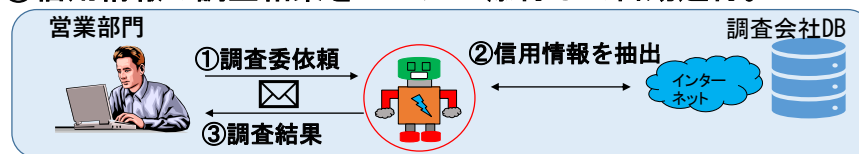
7

【事例3】企業調査部門の与信管理における 調査時間短縮と24時間対応化

イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPAでの対応

- ①調査依頼をメールで自動受信。
- ②調査会社DBから、インターネット経由して信用情報を自動抽出。
- ③信用情報の調査結果をメールに添付して自動送付。



4. 効果

- ・ 調査部門がおこなっていた信用情報調査を廃止。
- ・ 工数削減 = 人件費削減。
- ・ 調査時間の短縮
- ・ 調査時間は24時間となり、いつでも調査可能。

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

8

【事例4】技術者要員計画における人員調整 業務の不整合削減と迅速化

イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（エンジニア要員見通し集計業務）

- ①エンジニアの供給部門と、需要部門に要員調査を依頼。
- ②要員調査依頼書の回収を行い、格納DBに一時保管する。
- ③エンジニアの需要と供給の要件を突合して不一致要件を照合。
- ④照合した結果、整合性がとれていない箇所を提示する。

2. 課題

エンジニアの供給部門と需要部門の間における
不整合確認処理の迅速化と省力化ができないか。



9

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

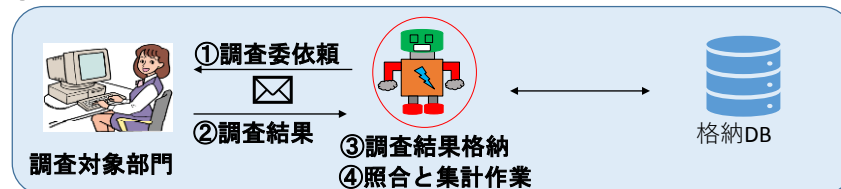
9

【事例4】技術者要員計画における人員調整 業務の不整合削減と迅速化

イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPAでの対応

- ①各部から送付されてくる要員調査依頼書から
添付データを取り出しDBへの一時保管を自動化。
- ②DBに一時保管された要員調査依頼書の供給側と需要側の
要員要件と人数の突合比較を自動化。
- ③数値の矛盾がある場合、不整合箇所を表示して自動返送する。



4. 効果

短時間で処理ができるようになり、省力化が計れた。

10

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

10

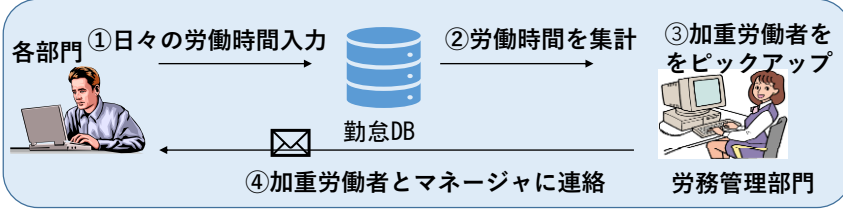
【事例5】労務管理における労働時間の集計と通知業務等の自動化 イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（労務管理業務）

- ①日々入力される勤怠DBから、各自の労働時間を集計。
（集計は、週ないしは月に数回実施）
- ②①から予想される加重労働者のリスト作成。
- ③予想加重労働者本人と、マネージャーにメールで連絡。

2. 課題

労働時間の集計作業という機械的業務に時間と労力を割くことから解放されたい。



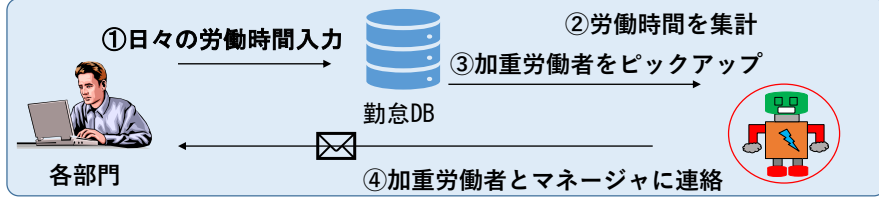
本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

11

【事例5】労務管理における労働時間の集計と通知業務等の自動化 イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPAでの対応

- ①加重労働時間の集計を自動化。
- ②加重労働者のピックアップを自動化。
- ③該当者にメール作成し通知発行の自動化。



4. 効果

- ・ 労務管理者の作業削減。
- ・ 労働時間集計を毎日必ず実行し、加重労働者とマネージャーへの連絡を的確かつ迅速に行うことが可能となった。¹²

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

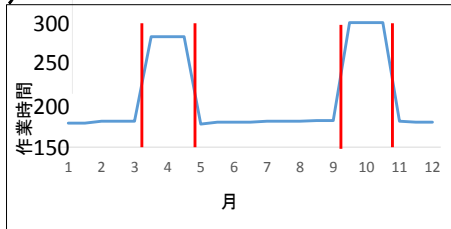
12

【事例6】人事課における査定業務の自動化による作業ピーク時対応

イースタンデジタル株式会社 EDC

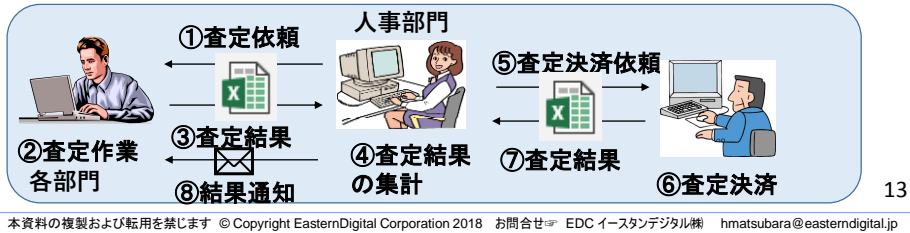
1. 業務概要（人事課の査定業務）

- ①賞与査定時期（4月、10月）
- ②人事課は各部に査定依頼し、結果を集計する。
- ③集計結果は決済依頼し、その結果を各部に報告する。



2. 課題

- ①査定時期だけの増員ができず、残業時間が過大になる。



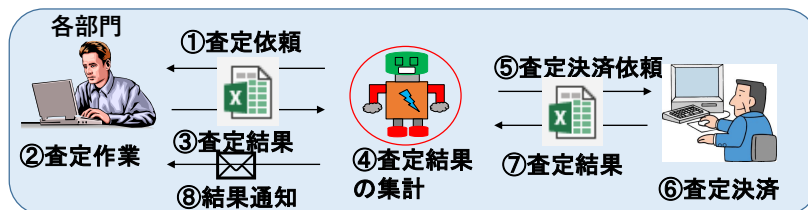
13

【事例6】人事課における査定業務の自動化による作業ピーク時対応

イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPAでの対応

- ①査定依頼の自動化。
- ③査定結果を受け取り、自動集計。
- ⑤自動集計した結果を自動的に決済依頼。
- ⑦査定決済を受け取り、各部に結果を自動通知。



4. 効果

- ・ 作業増加時期の残業不要。増員不要。＝人件費抑制。
- ・ 転記ミスの排除。⇒ 修正作業不要。＝人件費抑制。

14

14

【事例7】役員会議用の資料作成の自動化 による転記ミスや早期出勤の防止

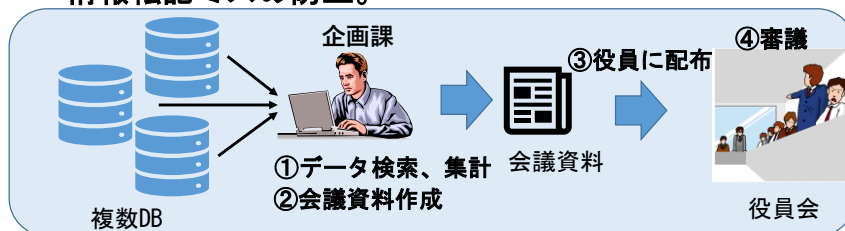
イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（企画課の資料作成業務）

- ①午前の役員会で使用する資料を早朝出勤して作成している。
- ②役員が見る情報は限定的な為、定型のフォーム有。
- ③複数DBから情報を取出し、定型フォームに記載。
- ④役員に配布する。

2. 課題

- ・ 特定社員による早朝出社の定常化は労務負荷問題。
- ・ 情報転記ミスの防止。



15

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

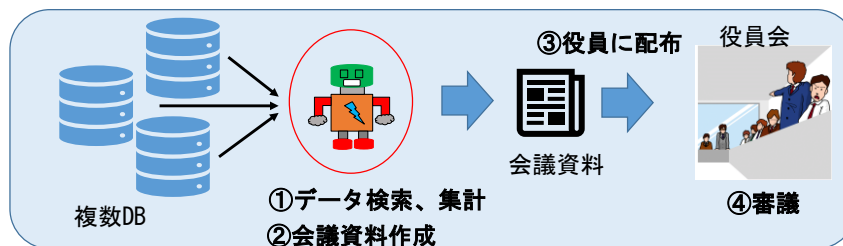
15

【事例7】役員会議用の資料作成の自動化 による転記ミスや早期出勤の防止

イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPAでの対応

- ①複数DBから、定型フォームの項目を抽出。
- ②抽出データは、定型フォームの適当な場所に記載。



4. 業務プロセス

- ・ 早朝出社が不要。
- ・ DBからの抽出したデータの記載ミス排除。

16

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

16

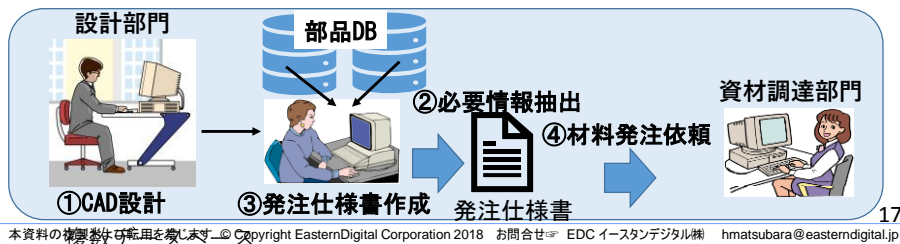
【事例8】設計部門における発注業務の自動化 イースタンデジタル株式会社 EDC による発注ミス防止と本来業務時間の確保

1. 業務概要（発注仕様書作成業務）

- ① CAD設計を行う。
- ② ①を元に部品DBから発注に必要な情報を抽出。
- ③ ②で取り出したデータを基に、発注仕様書を作成。
- ④ 発注仕様書で、資材調達部門に材料発注依頼。

2. 課題

事務業務が多く、設計作業に充てる時間が削られる為、残業で対応。事務業務の低減や削減ができないか。

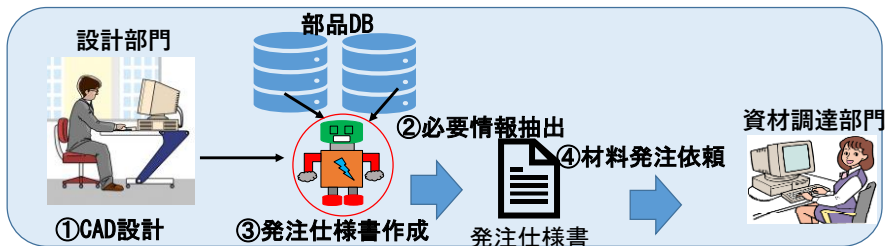


17

【事例8】設計部門における発注業務の自動化 イースタンデジタル株式会社 EDC による発注ミス防止と本来業務時間の確保

3. RPAでの対応

- ② 必要な部品情報を、部品DBから自動抽出。
- ③ 抽出した部品情報とCADデータから発注仕様書を自動作成。



4. 効果

- ・ 仕様書作成業務の事務業務の削減による人件費削減
- ・ 設計の本来作業時間を増やせた。
- ・ 手作業による発注仕様書の作成ミスの低減。

18

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

18

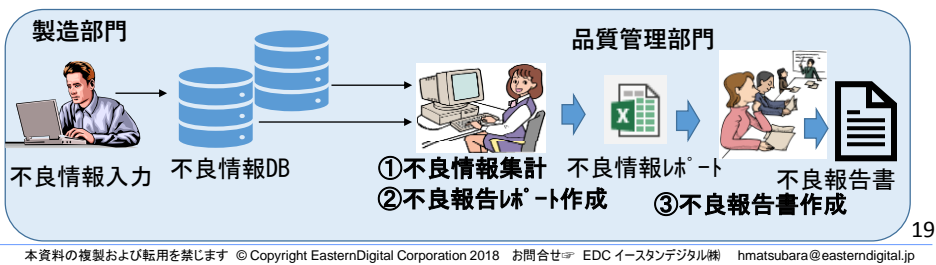
【事例9】製造業における不良品情報集計業務の自動化による対応迅速化 イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（不良分析業務）

- ① 点在している不良情報DBからデータを集める。
- ② 集めたデータを不良の項目に沿って、分類し集計する。
- ③ 集計結果から不良分析を行い、不良対策を決定する。

2. 課題

製造現場からの不良情報を集計する作業には手間がかかる為、月1回の報告に止まっている。この報告間隔を短くしたい。

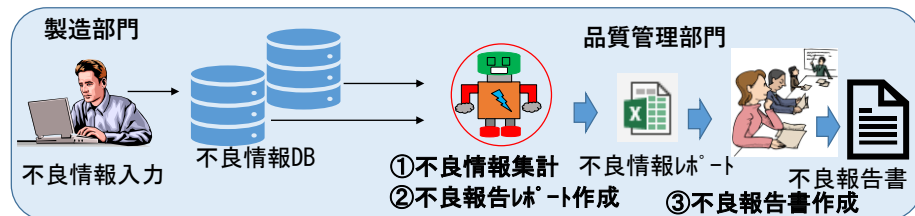


19

【事例9】製造業における不良品情報集計業務の自動化による対応迅速化 イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPAでの対応

- ① 点在する不良情報DBからデータを自動収集。
- ② 不良報告レポートを自動作成する。



4. 効果

- ・ 不良報告レポートの作成タイミングは、必要なタイミングで作成依頼ができ、適時不良報告を行える。⇒迅速な不良対策
- ・ 作成時間の削減。⇒労働コスト削減。
- ・ 入力データの作成ミスを低減。

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

20

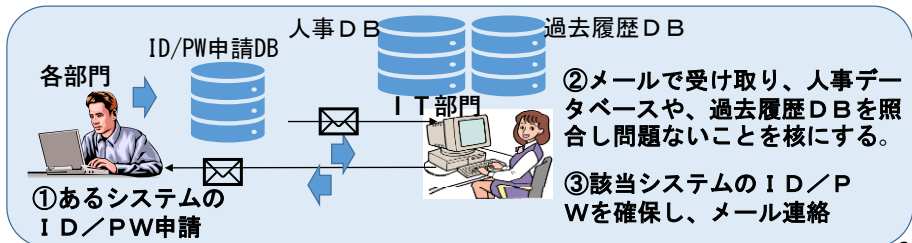
【事例10】ID/PWの24Hr割り当ての自動化 イースタンデジタル株式会社 EDC

1. 業務概要（ID/パスワード運用業務）

- ①各システムを使う場合、ID/PW申請システムに登録。
登録するとIT部門にメールで自動連絡がある。
- ②IT部門は、人事DB、過去履歴DBを検索し確認。
- ③確認できたらID/PWを割り当て、申請者へ連絡。

2. 課題

世界各国の拠点からの申請に対するID/PWの発行を24時間体制で運用する為の体制維持が負担となっている。



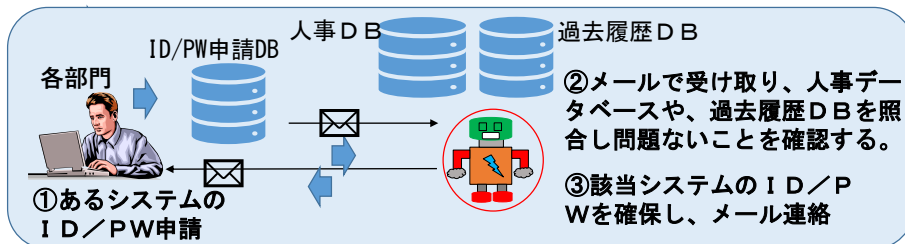
本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

21

【事例10】ID/PWの24Hr割り当ての自動化 イースタンデジタル株式会社 EDC

3. RPA対応

- ②人事DB、過去履歴DBを検索し自動確認。
- ③確認できたらID/PWを割り当て、申請者へ自動連絡



4. 効果

ID/PW割り当て業務の自動化によって
人手をかけずに可能とする24時間業務体制が確立できた。

本資料の複製および転用を禁じます © Copyright EasternDigital Corporation 2018 お問い合わせ EDC イースタンデジタル株式会社 hmatsubara@easterndigital.jp

22